平成28年度　福島県立浪江高等学校津島校　経営・運営ビジョン

「たくましい心を育てる学校を目指して！」

創立６８年目となる平成２８年度、浪江高校津島校は福島県立安達高等学校内のサテライトで５度目の春を迎えました。これまで県内外から心温まる御支援をいただき、深く感謝申し上げます。

新年度は３年１２名のみでスタートします。本校はこれまで校是「知性・優雅」の精神に示された自主的態度を育み、確かな学力を身につけさせるとともに、自律性・社会性を育て人に優しく思いやりのある、心豊かな生徒を育成してまいりました。今年度も地元の復興に貢献できる人材の育成を目指して、皆様からいただいた多大な御支援に感謝しながら、この地域の利便性や特性を生かした教育活動を進めてまいります。「浪江高校津島校に入学して良かった」「津島校安達サテライトでの学校生活は充実していた」と生徒が感じられるように、充実感や達成感を醸成し、困難の中でもたくましく生徒が成長できるよう、教育目標及び指導の重点のもと生徒の進路希望実現に向けて指導・支援を行います。今後とも、地域及び保護者の皆様の御支援・御協力をお願いいたします。

校長　佐藤　京治

福島県立浪江高等学校津島校

校　　是

「知性」：物事を知り、考え、判断する力

「優雅」：上品さ、礼儀正しさ

－教育方針－

生徒の適性、能力を伸長し、豊かな心を持ち社会にたくましく生きていく人間を育成する。

「浪江津島で学んで良かった」と思える学校に

日頃より本校の教育活動について御理解と御協力をいただきありがとうございます。来年３月の休校が決まっているからこそ、できることを「生徒のために」全力をあげて浪江津島の学校運営に取り組みます。

少人数教育の利点を最大限に活かし、希望する進路目標を実現し、他人の痛みが分かる道徳心豊かな生徒の育成に取り組みます。また、今年は震災以降サテライト仮設校舎としてお世話になっている安達高校との連携を更に強化し、節目の休校式を成功させます。そして、どんなに時代が変わっても、絶対に変わってはいけないものを今年も追求し、社会につなぎ未来を切り拓く相双の教育の理念を実現します。

教頭（分校長）　夏目利江子

教　育　目　標

◇ 主体的に意欲を持って学ぶ生徒を育成する。　◇ 精神、身体ともに健康な生徒を育成する。　◇ 明るく豊かな心を持つ生徒を育成する。

◇ すすんで仕事に取り組む生徒を育成する。　◇ 自己責任を常に考え、実行できる生徒を育成する。　◇ 世界に広く目を向ける生徒を育成する。

学習指導

「わかる」「できる」「楽しい」授業の実践を通して、生徒一人一人の基礎学力の向上に努めます。（全員進級・卒業）

手だて

1 「朝の学習の時間」や学校独自問題集「津島学習ノート」を積極的に活用し、基礎的・基本的学力の定着を図ります。

2 一人一人に寄り添い、言語活動の充実を図り、わかる授業を実践します。

3 「実習や実験等」を取り入れた授業を行うことにより、実践力や自主性を養います。

生徒指導

基本的生活習慣を身につけさせるとともに、望ましい社会性の育成に努めます。（生徒事故ゼロ）

手だて

1 個別の指導や服装・頭髪指導、あいさつ運動を通じて生活習慣の定着を図ります。
2 各委員会活動を活発にし、様々な場面で実行できる生徒を育成します。
3 外部講師による講演会を実施し、あいさつやコミュニケーション能力などの社会人基礎力を高め、社会に必要とされる生徒の育成を図ります。
4 薬物乱用防止教室や性について考える講座を通して、道徳心や社会規範意識を高めます。

進路指導

生徒一人一人の自己理解を図り、具体的進路目標の明確化と進路実現に努めます。（進路実現100%）

手だて

1 職業適性検査を実施し、自己の適性を正しく理解させ、進路について主体的に考え行動する能力を育成します。
2 個別指導の充実を図り、三者面談、保護者・生徒進路説明会、進路講演会などを実施し、進路目標の設定と進路実現に向けた指導を徹底します。
3 企業訪問や学校説明会などに積極的に参加し、求人や入試情報を収集し、生徒の進路実現のために活用します。

特別活動

特別活動等を通して、社会の一員としての自覚を深めさせ、活力ある生徒の育成に努めます。（放課後活動100%）

手だて

1 「ホームルーム活動」「学校行事」「総合的な学習の時間」「生徒会活動」及び「部活動」などの活動を通して、主体性のある生徒を育てます。

2 「体験活動」や浪江本校との交流を行うことにより、生徒間のコミュニケーションの機会を増やし、社会性、協調性を養います。

3 各委員会活動を活発にし、進んで活動する生徒を育成するとともに、確実に仕事をやり遂げることができる生徒を育成します。

連携推進

協力校や本校との連携のもと、保護者や地域との連携を深め、教育活動の充実に努めます。

手だて

1 「PTA総会」「授業参観」や「ホームページ」の充実、校外活動の充実などを通じ保護者や地域の連携・推進を図ります。
2 「ボランティア」や「花いっぱい運動」を行い地域と交流をする機会を増やし、生徒の社会意識の高揚を図ります。

生徒や保護者、地域の方々（県民）の期待と信頼に応えるため、本校教職員は教育公務員としての使命感を忘れず、組織マネージメントや校内服務倫理委員会等を機能させます。

（職員事故ゼロ・不祥事ゼロ）